

論 点 等 整 理 シ ー ト

事業番号：0014

部 局 名	刑事局		
政 策 ・ 施 策 名	検察権の適正迅速な行使		
事 業 名	検察総合情報管理システムの運営		
予 算 額	平成28年度	平成29年度	
	1,932 百万円	1,935 百万円	

【選定の視点, 理由等】

検察総合情報管理システムの業務アプリケーションは、平成14年のシステムの設計開始から14年、運用開始から10年以上が経過した情報システムであるところ、平成26年度の行政事業レビュー公開プロセスにおいてシステムの再構築の必要性について指摘されているほか、各検察庁からもシステム改修や機能追加の要望が多数寄せられており、システム再構築を検討していることから、その効率的かつ効果的な実施方法等について検討が必要。

【論点等】

○システム再構築を実施するための手段と検討範囲

複雑なプログラム設計を見直し、システムの円滑な運用及び運用・保守費用のスリム化を図るべきではないか。

- 複雑なプログラム設計とならないようにするための方法
(設計の仕方, 開発業者の選定, コンサルの活用, 職員の教育等)
- 将来の新規業者の参入を見越したシステムの構築の在り方
- システム再構築を実施するため, 今, 何をしておくべきか
- 業者と職員の連携・情報共有の方法

○適切な成果目標等の設定

迅速な検察権行使のための情報システムとして、どのような成果目標や成果指標を設定することが適切か。

→検察業務は、事件発生という他律的な要因に左右され、必ずしも生産性のみを目的とすることが相当でないところ、そのような業務に用いるシステムの成果目標等としては、どのようなものが考えられるか。